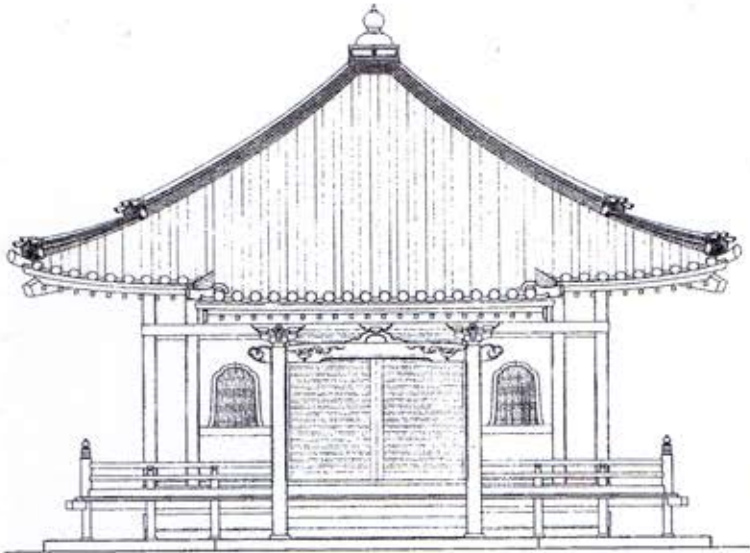


# 不動堂建立尊像修復 発願

まもなく春のお彼岸を迎え、寺の境内の木々も  
日一日と春の装いを増して来ました。



先の、「常楽寺だより」で、お話ししましたが、今の常楽寺が合寺して、百二十年を迎えました。元の常楽寺跡には不動堂が残っています。このお堂も、大変危険な状態となっています。寺では、大変歴史のある常楽寺の不動堂です。なんとかしても、お堂の再建をと、発願しました。出来る限りの努力をして、この事業を達成したいと願っています。

寺の建物となると、  
建築坪単価も高くなります。

常楽寺  
だより  
25.2.22

上記の、完成予想図のよう、  
三間半四方の建物を予定しています。また、「本尊のお不動さまも、弘法大師様と大変深い縁のある「波切り不動尊」で、大変珍しい「本尊」です。長い年月を経て今日まで、守り伝えられて来たものです。傷みも大変ひどく、新しい建物にふさわしく、修理の手を入れなければなりません。

建物本体の見積もりも、金額が、約二千三百万円、  
仏像と、その仏像を納める厨子の修復に、約七百万円の見積もりが出されています。

今日の、経済の大変厳しい中ですが、浄財のご支援を是非お願いいたします。一口一万円とさせていただきますが、半口でもかまいません。

建物や仏像の現状をご理解いただき、「ご協力を心よりお願い申し上げます。(住職 本城亮俊)

三月二十日(水)午前十時より

## 総供養会を開催します。

本年も、三月二十日(水)

春分の日、午前十時より、常

楽寺本堂で『常楽寺護持会

総会と、「先祖総供養会」を開催いたします。

ごなたに「おついても、」西親が居られ、また、その「西親にも、また、「西親が居られます。「先祖を十代前までさかのぼると、なんと二千二十四人の親が居られて、脈々と命をつないで来ていて、今の私達が「この世」に居られるのです。

おでかけ  
くだり  
↑

### よみがえったご本尊 ご本尊修復の記録展

常楽寺本尊十一面観世音菩薩立像

とき 平成25年3月20日(水)~4月15日(月)  
「午前9時~午後5時迄」  
ところ 太田市上田島町372 常楽寺境内  
「うすさき明王堂」

美しいさくらの花の季節が、大変待ちどろしい今日この頃ですが、先の東日本大災害の折、寺の立像のご本尊十一面観世音菩薩が倒れ、高い台座から転落し破損してしまいました。常楽寺では最も古い、平安時代に作られたご仏像で、「仏教造形研究所」での二年間のご努力により、作られた当時の立派な姿に修復されました。それは見事な仏像となりました。

その修復の過程も含めた写真などを展示します。是非ご覧ください。

主催 花の寺 真言宗豊山派紫雲山常楽寺  
群馬県太田市上田島町372(電話 0276-31-0001)

今日の科学では一人ひとりの遺伝子(DNA)が子々孫々にまで伝えられていることが解明されて来ました。その数えきれない「先祖」に、今日の私達の命が支えられ、私たちの暮らしが有るのです。その「先祖の総供養会の費用と護持会々費も含めた五千円の集金も宜しく願っています。